



まくひか[®]

®は登録商標

濡れ性に優れたタシロコーン系展着剤

特1長

農薬を均一に付着

特2長

散布液の乾きを早める
散布薬液が濡れやすくなり、
作物に均一に付着するため、
安定した防除効果が得られます。

まくひか 加用



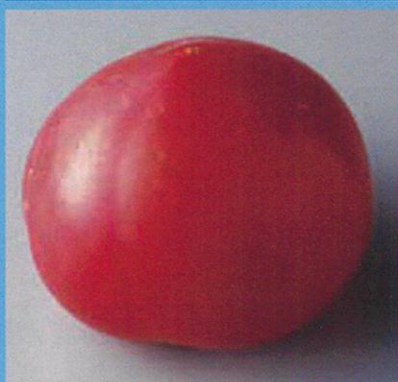
非加用(水のみ)



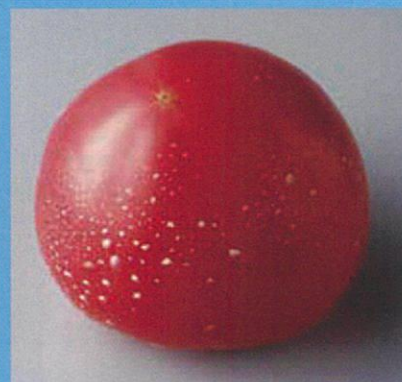
特3長

農薬による汚れを軽減
薬液が均一に早く拡がるので、
水和剤や高濃度で散布するフロアブル剤などを使用しても、
農薬による汚れが目立たなくなります。

まくひか 加用

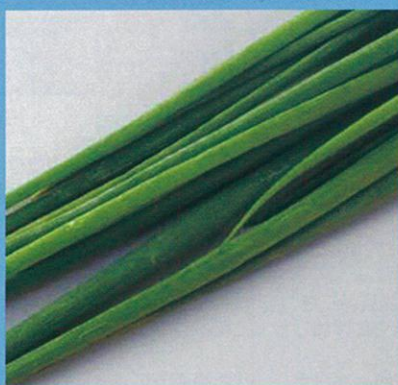


非加用(A剤のみ)



特4長

散布水量の節約
まくひかの添加によって、植
物体を早く確実に濡らせるので、
散布水量を減らすことが期待できます。



芝にも、茶にも使える!





展着剤 まくひか

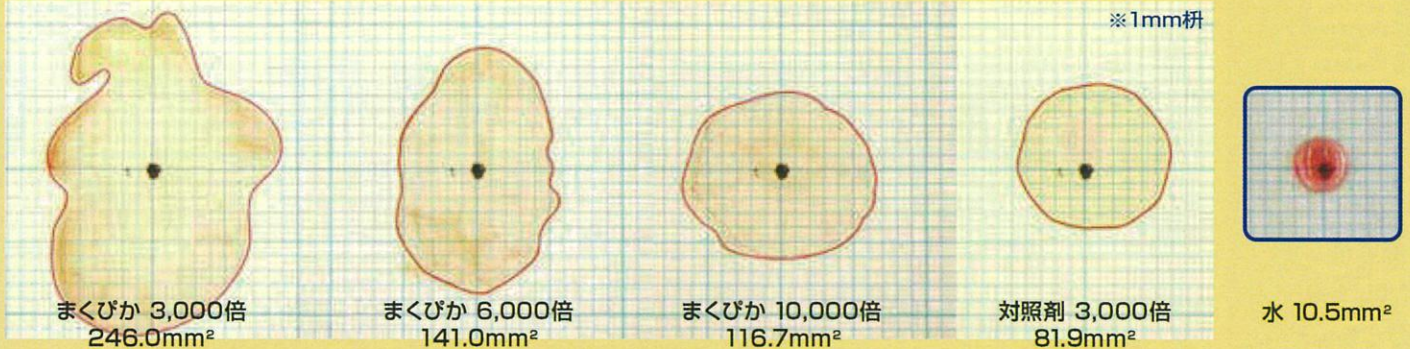
●有効成分：ポリオキシエチレンメチルポリシロキサン…93.0%

- 人畜毒性：普通物 (毒劇物に該当しないものを指している通称)
- 危険物：第四類第三石油類

まくひかは濡れが広がる!

※シリコンは様々な特殊機能を持つ多岐多様な素材です。安全性が高く、化粧品・トイレットリー製品や電化製品など幅広く使用されています。

実験例 プラスチックシート上における各薬液(着色した水道水10μℓ)の滴下30分後の広がり [石原産業社内試験]



まくひかの添加により、水のみ甚至比11倍～23倍の面積に濡れが広がった。

適用農薬と使用方法

適用農薬名	作物名	散布液10ℓ当り使用量 (希釈倍数)	使用方法
殺菌剤・殺虫剤	果樹類	1～2mℓ (10,000～5,000倍)	添加
エテホン液剤(エスレル10)	野菜類・豆類(種実)・いも類・麦類・茶	1～3.3mℓ (10,000～3,000倍)	
殺菌剤・殺虫剤	小麦		
フルアジホップP乳剤(ワンサイドP乳剤) フェンメディファム乳剤 メタミロン水和剤 レナシル・PAC水和剤	てんさい		
殺菌剤・殺虫剤	芝		
フラザルフロン水和剤(シバゲンDF) アシュラム液剤(グリーンアージラン液剤) トリクロビル液剤(サイトロンアミン液剤) ベンディメタリン水和剤・MCPP液剤 等の除草剤			
非選択性莖葉処理型除草剤	適用農薬の登録内容の作物		

※本内容は平成30年10月10日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意

- 所定量の本剤を直接散布液に加え、十分かき混ぜてから散布してください。
- 泡立ちをさけるため、散布タンクに水を満たした後、本剤を添加してください。
- 極端な酸性、アルカリ性の散布液では使用しないでください。
- 使用に当たっては、使用農薬の使用条件や使用上の注意事項を厳守してください。

安全使用上の注意

- 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には、保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。
眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 公園等で使用する場合、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や関係者以外が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
魚毒性等…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 保管…火気厳禁。密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な所に保管してください。

特に注意してください。

まくひかの上手な使い方

泡立ちを避ける薬液調製方法

1.「まくひか」は薬液タンクに水を満たした後、最後に添加してください。



2. 残薬液に注水して薬液を調製する場合は「注水ホース口を、薬液の中に入れて注水」してください。空気を液中に取り込むと泡立ちが多くなります。



3. 消泡剤を使用する場合は「最初に添加」してください(添加量は1,000ℓに2～3mℓ程度)。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

●空容器は農場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

本印刷物は平成30年11月時点での知見に基づいて作成しています。